

学校だより

高野山小学校

平成29年5月16日 No3

～意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成～

1年生がこども園のみなさんと交通安全教室に参加しました



4月18日（火）高野山こども園で開催された交通安全教室に1年生が参加しました。県警察本部ひまわり隊のみなさんから交通ルールや横断歩道の正しい渡り方、安全確認について、楽しく、わかりやすく教えていただきました。最後には、きしゅう君も登場し、不審者の対応について学びました。

春の遠足(3、4年) 緑育体験学習(1、2年)(5、6年)を実施しました



4月28日（金）晴天に恵まれ、春の遠足を実施しました。1・2年生は、転軸山公園で草木染め体験、5・6年生は、金剛峯寺山林部のみなさんにお世話いただき間伐体験を行いました。3・4年生は、橋本市杉村公園の郷土資料館を見学しました。

【ちゃんと、叱っていますかー叱り方の3カ条ー】

子育てには、ほめるだけでなく、叱ることも大切です。良いことは良いとほめる一方、悪いことは悪いと、ちゃんと叱ること。ただ、叱り方が大切なのです。叱り方の3カ条を是非参考にしてください。

- (1)説教は3分以内にする。なぜなら、それ以上叱ると、どうして叱っていたかの、もとを忘れてしまうことがあるから。そういえば思いあたることはありませんか。叱られている方も首をすくめて早く怒りが通り過ぎることを待つだけになってしまいます。
- (2)振り上げたこぶしの降ろしどころを考えながら叱ること。これは、子どもの逃げ道をこしらえながら叱ることです。「もう、これで叱るのはやめるけれど、これからは気をつけるんだよ」こう言ってこぶしを降ろすこと。これは今教育の世界で話題の「メタ認知」（自分の思考や行動そのものを客観的に認識すること）なのです。叱っている自分の姿を見ている、もう一人の冷静な自分をもつことです。怒りに任せて叱っても、効果は期待できず、叱った方には、後悔と自己嫌悪が残るだけです。
- (3)決して過去にさかのぼらないこと。「前もこんなことがあったでしょう」と言わないことです。今の姿にこだわりながらも、こだわり過ぎない。暖かい眼に、長い眼が備わってこそ、効果的になるのです。

関西福祉大学学長 加藤 明 先生 「家庭での子育てのポイント」より